平成25年度　Ｂブロック勉強会　アクションプラン

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成26年2月13日（木）

◆テーマ（お薬手帳・疑義照会・残薬確認・ジェネリック・一般用医薬品）

　　　　　　お薬手帳
◆個人で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

　　お薬手帳の活用ができていない。お薬手帳の必要性の認知。必要性をわかっていない。

　患者さんへの関心をもち具現すること。持ってくる手間　　　　　が問題

◆班で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

お薬手帳の声かけができていないこと　　　が問題

◆アクションプラン

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |  |
| --- | --- |
| 2班 | 目標：８５％の患者さんが喜んで持ってきてくれる  |

　　目標にいたる具体的な解決策

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| いつ（実施時期） | 明日から | 誰が（実施主体） | 薬局全体 |
| 誰に（働きかけ先） | 患者に |
| どのように（方法） | ・患者さんが薬局に入ってこられたらまずあいさつをするようにお薬手帳について　声かけをする「お薬手帳おてこられましたか？」　必要があれば必要性について説明する。・利便性から薬局においてカバー（保険証が入る）について検討する。 |
| 備考 | シールだけ渡さないようにする（貼ることが目的になってしまうので） |

 |

◆振り返り

|  |
| --- |
| 早速翌日から患者さんの声かけをはじめ、必要性を各薬局で説明されているようです。勉強会に参加して認識も新たにし、手帳カバーのプレゼントは反応がいいそうです。 |